

現高2生へ

2014 年に向けての【学習アドバイス】 政 治 経 済

I. 教科書・用語集・予備校テキストによる基礎知識の習得と理解

センター試験の問題は、学習指導要領にのっとり、教科書の範囲内から出題されるのが原則である。しかし、「教科書内容が何となく理解できている（つもり）」では太刀打ちできない。「正確な理解」と「確実な知識」が要求され、それを確認できるよう出題形式（図表読解や正誤文選択など）も工夫されている。得点力を上げるためには、予備校テキストで要点をおさえ、教科書を熟読し、あいまいな点を残さないようにしよう。学習の際には、用語集も活用すると良い。さらに、教科書で説明されている内容の「具体」が何であるかを、日頃の生活の中で意識するようにしよう。

II. 資料集を活用して思考の訓練をする

資料などを用いた図表問題は必出である。そこで主に問われているのは、数値などの単純知識ではなく、図表の読み取り能力である。その際には、背景知識が前提となっていることも多い。図表問題で確実に得点するためには、訓練も必要である。日頃から、統計値等が掲載されている資料集に目を通し、その図表が何を示しているのかを考える習慣を身につけよう。

III. 時事問題に関心をもつ

センター試験では、時事的な視点からリード文が作成されることが多い。当然、その中で時事的な知識も問われる。国内問題だけでなく、国際的な視点からも出題される。日頃から新聞やニュース等で、時事的な視点を養っておくべきである。そして、時事的な話題の背景について、教科書等の記述との関連付けを行うようにしよう。

IV. 過去問演習をする

センター試験は、過去の出題形式や内容が踏襲されることも多い。頻出分野を把握するとともに、過去問演習によるアウトプットを通じて分析・考察の訓練をしよう。正誤文選択や図表読み取り問題などの得点力を養成するためには、問題演習が不可欠である。選択肢の慎重な検討をくり返し、確実に得点する力を身につけよう。